



～ ふげんで働く仲間たち ～

 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

 新型転換炉原型炉ふげん

ふげん職員にインタビュー

— 水井所長 & 若手職員 —



ふげん所長
水井 宏之

■ 自己紹介

1994年に入社しました。
2024年4月から「ふげん」の19代目所長を務めています。

■ ふげんの魅力

「ふげん」は、日本の国産技術を集めてつくられ、約25年間にわたり発電を行ってきたプラントです。現在は、これまでに例のない「廃止措置プロジェクト」に取り組んでおり、原子力エネルギーの意義や、安全で持続可能な未来を切り拓く”挑戦”を続けています。

■ どんな人に来てほしい？

廃止措置の分野は、まだ誰も経験していない新しい領域です。だからこそ、たくさんの可能性があります。私たちの前には、まだ埋もれている“課題”や“ヒント”がたくさんあります。それらと一緒に見つけて磨き上げ、よりよい未来をつくっていただける仲間を歓迎します！

■ 休日の過ごし方

数年前からロードバイクを始めました。ロングライドで風を切るのは本当に気持ちいい！
そして走った後に飲む一杯が、これまた最高なんです。

■ 学生時代に夢中になったこと

中学生の頃から、入社するまでずっと剣道を続けていました。礼節を大切にする気持ちは心がけています。とはいえ、体型だけは当時とはすっかり変わってしまいましたが…



計画管理課

☆入社のかきかけ

「つるがの四季」に記載されている地元の方からのコメントが温かく、地元から応援されている仕事であることに魅力を感じました。

☆ふげんはどんなところですか？

少人数のチーム体制だからこそ個々の意見が尊重されやすく、新しいことにも挑戦しやすい前向きな雰囲気がある職場です。

☆休日の過ごし方

ショッピング、犬と遊ぶ

☆学生時代に打ち込んだこと

スケートボード



技術実証課

☆入社のかきかけ

大学で原子力を学ぶ中で原子炉の課題や現状を知り、日本では廃止措置が始まったばかりで、技術開発の重要性が高まっていることを実感しました。廃止措置には現場に即した技術開発が不可欠であり、自らその一端を担うことで日本の廃止措置に貢献したいと考え、志望しました。

☆ふげんはどんなところですか？

山と海に囲まれていて、自然の豊かな場所にあります。人は柔和で話しやすい一方、規則はしっかりと守られており、メリハリのある職場だと感じています。

☆休日の過ごし方

マラソン練習、スキー、スノボ

☆学生時代に打ち込んだこと

バイト、お酒を嗜む



安全管理課

☆入社のかきかけ

大学では原子力・放射線に関する学問の習得に務めており、その専門知識を生かせる職に就きたいと考えていました。また、北陸出身として、北陸地方に貢献できる仕事をしたいという思いがありました。原子力発電所の廃止措置に必要な技術開発に取り組むJAEAの「ふげん」は、自分に合っていると感じていたため志望しました。

☆ふげんはどんなところですか？

所属長、所幹部の方々との距離感が近く、気兼ねなく話すことができます。

☆休日の過ごし方

お昼寝、ゲーム

☆学生時代に打ち込んだこと

部活動



新入職員
(安全管理課)

☆入社のかきかけ

高校の先輩がJAEAで活躍していると知り興味を持ちました。また、男性職員が多い職場というイメージから働きやすさに不安もありましたが、見学会で多くの女性が幅広い職種で活躍している姿を見て魅力を感じ、自分もいきいきと働けると考え志望しました。

☆ふげんはどんなところですか？

レクリエーション行事が盛んで、部署を越えたコミュニケーションが活発です。

☆休日の過ごし方

ドライブ、動画視聴

☆学生時代に打ち込んだこと

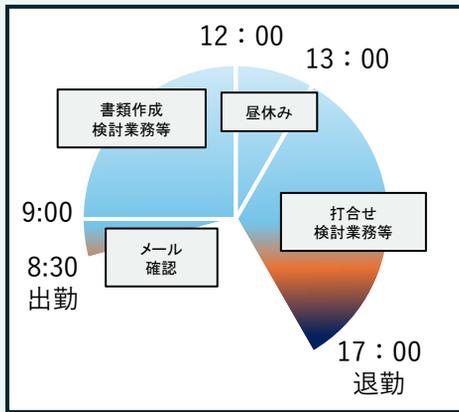
部活動、資格取得



若手職員の業務風景

計画管理課

私は、廃棄物に係る業務を行っています。現在は令和8年度のセメント混練固化装置供用開始に向け、課題解決や混練条件の決定等について検討しています。重要で難しい廃棄物問題に携わることができ、問題をひとつずつ解決していくことにやりがいを感じています。



↑業務成果報告会での発表風景

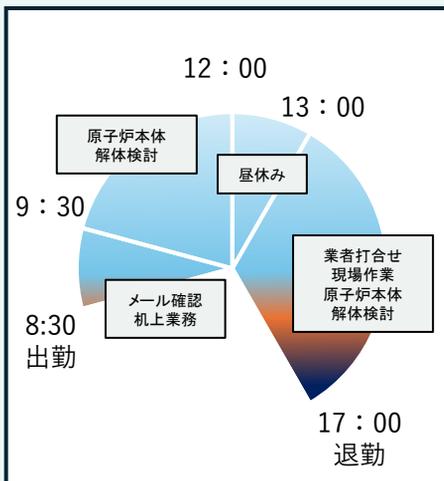


↑セメント混練固化試験の作業中

技術実証課

私は、原子炉本体解体に使用する水中レーザ切断工法について、解体作業に使用する機器の製作、実証試験を通して切断データの取得等の業務を行っています。

世界的に見ても適用実績の少ない工法のため課題も多いですが、自分の検討結果によって一つずつ実用化していくことにやりがいを感じています。



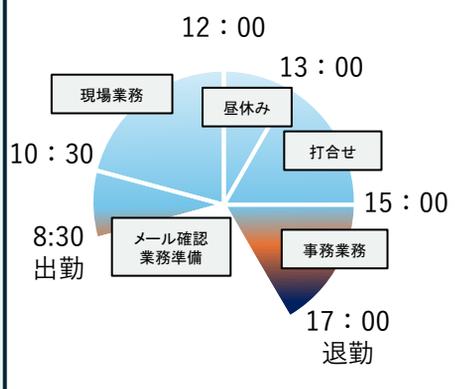
↑切断試験中の様子



↑原子力学会での発表風景

安全管理課

私の主な業務は、ふげんから放出される気体・液体廃棄物の放出管理（異常な放出の無いことの管理）と、環境配慮活動の推進（ふげんで行っている作業が環境に与える影響の評価）を行っています。異常な放出、大きな環境への影響は外部への報告対象であるため、細心の注意を払って業務に取り組んでいます。



↑ 模擬クリアランス対象物の測定作業風景

R7年度新入職員（安全管理課）

私は半年間でふげんの全課を研修して回り、ふげんの施設や業務について一つ一つしっかりと学ぶことができました。

現在は研修を終え、本務である放射線管理・被ばく管理の業務に携わっています。各課研修を通して他課の職員の方々と関わる機会を得たことで、分からないことや、疑問に思ったことを先輩職員の皆さんに積極的に質問できるようになりました。

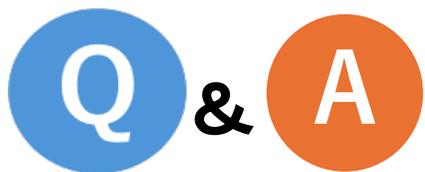
私は放射線について知識がまだ十分ではありませんが、日々の業務を通して学びを深め、成長していきたいと考えています。

- 4月 入社式・新入職員研修（茨城県）
- 5月 各課研修開始
- 9月 各課研修終了
フォローアップ研修（福島県）
- 10月 成果報告会
当直研修（2サイクル）
- 11月 本務での業務開始



↑ 新入職員研修中の風景

ふげん若手職員 11人に聞く！



Q

JAEAに入って良かったこと

A

- ・日本初の取組みに携わることができ、**やりがいを感じられる**
- ・様々な業者の方との繋がりを通して、**幅広い知識を得られる**

Q

ふげんの職場の雰囲気

A

- ・面倒見の良い人が多く、**風通しの良い職場**
- ・育成意識が高く、色々なことに**挑戦させてもらえる職場**
- ・**オン・オフのメリハリ**があり、仕事も遊びも全力で取り組む職場

Q

学生時代にしておくべきことは？



資格は入社してから大丈夫！
今は専門知識ゼロでもOK！

A

- ・多くの人と関わり、**コミュニケーション**能力を磨く
- ・挨拶や礼儀等の基本的な**マナー**を身につける
- ・学校生活を思いっきり**楽しみ**、やりたいことに**挑戦する**！
- ・**資格取得** ←持っているだけで入社後、重宝される！（RI 1種等）

Q

JAEAの福利厚生の魅力ポイント



特別休暇も様々！
休暇を取りやすい雰囲気の
働きやすい職場です。

A

- ・特別休暇が充実している！（有給20日＋夏季休暇7日）
- ・レクリエーション行事が活発
- ・資格・講習費を負担してくれる



駅伝大会



モルック大会



ボウリング大会

Q

敦賀はどんなところ？



車があると便利！

A

- ・ごはんが美味しい（特に海産物）
- ・アクセスが良く、旅行に行きやすい
- ・必要なお店が一通り揃っていて便利

Q

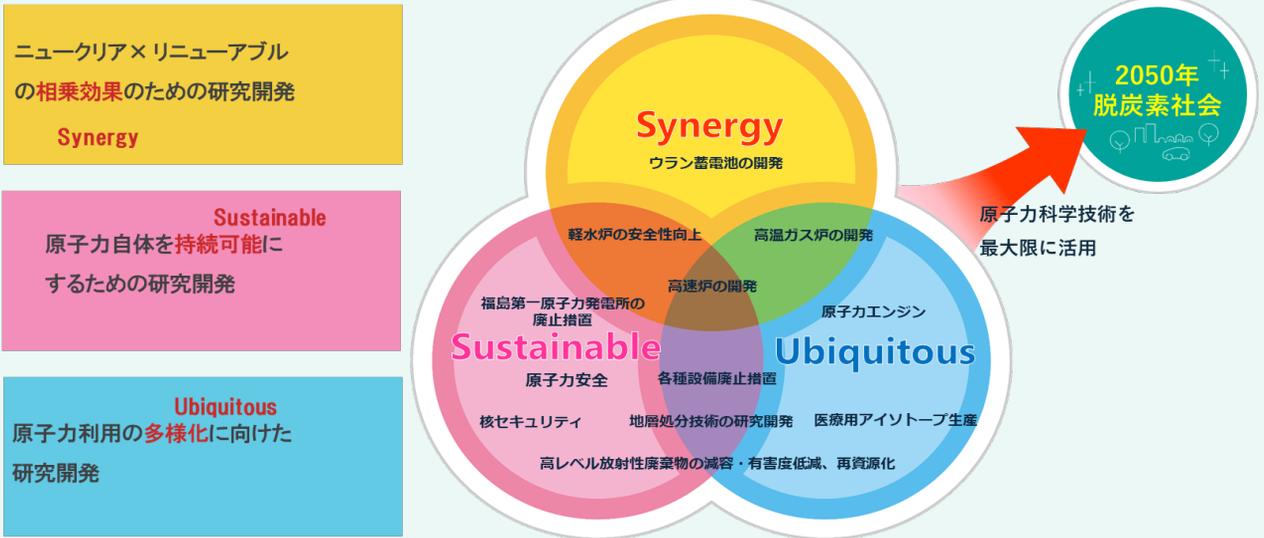
社宅、寮での暮らしについて

A

- ・家賃が安い
- ・築年数は古いが、部屋が広い
- ・先輩や後輩と仲良くなれる！

「カーボンニュートラルな社会」と「低資源・高効率な社会」の実現を目指し、人類社会への貢献を目標に、さまざまな研究開発に取り組んでいます。

原子力機構のビジョン「ニュークリア × リニューアブル」で拓く新しい未来



新型転換炉原型炉ふげん

電力会社に先駆けて水冷却炉の廃止措置を進めており、現在は、原子炉周辺設備などの解体撤去や原子炉の解体を安全に実施するため、遠隔・自動化装置などの技術開発に取り組んでいます。



「壊して終わりじゃない、未来をつくる技術」

廃止措置は原子力発電所を安全に解体するだけではありません。
廃止措置で得られた技術は他の発電所の廃止措置や次世代原子炉の設計に活かすことができます。
原子力を持続可能にするため、私たちは挑戦を続けています。

JAEA新卒採用案内はこちらから →

